

## 第14回 ISO/TC249 WG2会議開催(ベルリン)

2018年2月6日、7日の両日、  
ベルリンのDIN(ドイツ標準化研究所)においてISO/TC249 WG2(工業製品)の会議が開かれた。  
(14<sup>th</sup> Meeting of ISO/TC249/WG 2 “Quality and Safety of Manufactured TCM Products”)

日本からは4名が出席し、  
日漢協からは諸田隆国際委員長が参加した。



アフラトキシン測定法、アコニチンアルカロイド測定法  
など10種余りの標準化案について  
6月の上海全体会議に向けて活発な議論が交わされた。  
ドイツから提案されたTLC確認試験法については、  
クロロホルムなどの有害試薬を使わないように要望した。  
当協会に関連する案件については、  
国際対応WGで議論し、  
国内委員会(ISO/TC249 委員会1)を通じて  
必要な意見や要望を提出する予定である。

日本から提案されている  
「製造工程に対する要求事項」については、  
最終段階(FDIS)の投票となっていることが確認され、  
順調に進めば、年度内にはISO化される見込みである。

参加国:	ドイツ3名、中国8名(Web参加も含む)、韓国 2名、日本 4名	
日本参加者:	新井 一郎 先生	(日本薬科大学 教授)
	伊藤美千穂 先生	(京都大学薬学部 准教授)
	池田 秀子 氏	(日本健康食品規格協会)
	諸田 隆 国際委員長	(日本漢方生薬製剤協会)